

【団体名】 自然農法研究会

【事業名】 生ごみ堆肥わくわく運動

【事業の目的】

安城市内から出る家庭生ごみを堆肥化することにより、ごみの減量化を図ると共に地球温暖化防止・地球環境改善に資する。循環型社会づくりの一方策として市民に提言する。

【実施内容】

国産赤身杉板で作った木枠を3段積み上げた中に野菜くずや落ち葉、雑草を入れるだけ切り返しも不要という楽なごみ堆肥化方法の講習会を開催し、22家庭が取り組んだ。また、一般家庭で手軽に身近にある材料で安価に取り組める方法として段ボール箱による生ごみの堆肥化方法の講習会を開いた。箱の作り方、発酵基材の作り方、生ごみ堆肥の作り方を説明した。計5回開催し、163名の参加を得た。また発酵基材となる籾がら燻炭の作り方講習会も開催した。



【成果】

当初、木枠による方法で20家庭の参加を想定していたが、一般家庭で手軽に取り組める方法として段ボール箱を使った方法の講習会を計画したところ、予想を遥かに超える参加者を得て本事業を終えることができ、市民の関心の高さに驚いた。

段ボール箱を使った生ごみ発酵による堆肥化は、好気性微生物であるため、段ボール箱は通気性、通水性が優れているため最適である。また、材料は発酵基材となるピートモスと籾がら燻炭、身近にある段ボール箱のみで、1箱あたり500円ででき、安価であることは全家庭に広めるには最適である。誰にでも簡単に製作できることも大変有利であることが分かった。今後、町内会やボランティア団体などで定期的に講習会を開催することを計画すれば、飛躍的に参加家庭が増える確かな手応えを得た。

